

松本市市民活動サポートセンター
利用アンケート調査
報告書

2025年（令和7年）3月

松本市 住民自治局 地域づくり課 市民活動サポートセンター

1 調査の概要

(1) 調査実施の目的

本調査は、松本市市民活動サポートセンターの登録団体の活動状況、課題、サポートに対するニーズを調査し、市民活動サポートセンターで今後サポートできることを把握、検討していくために実施しました。

(2) 調査方法

郵送によるアンケート調査（紙ベース回答又は、電子回答）

(3) 調査期間

令和6年10月17日から令和6年11月30日まで

(4) 調査対象

松本市市民活動サポートセンターに団体登録をしている市民活動団体（226 団体）

(5) 回答状況

サポートセンター登録団体数	回答団体数	回答率
226 団体	88 団体	38.9%

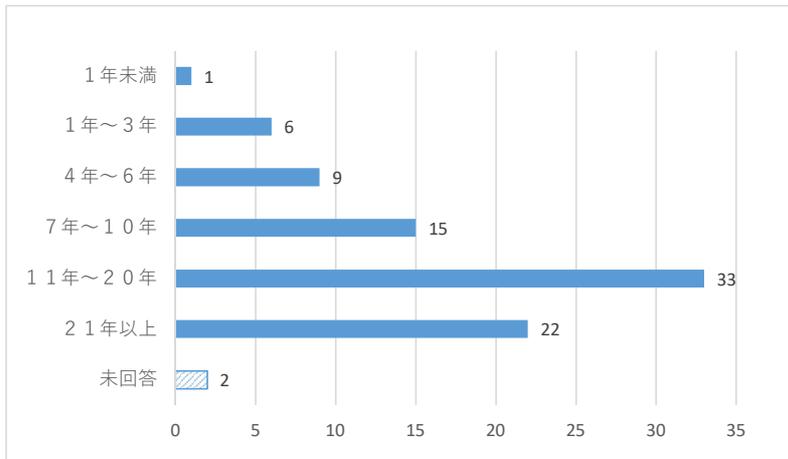
(6) その他

- ・「その他」等、記述回答については、一部抜粋したものを掲載しています。
- ・棒グラフは回答団体数、円グラフは回答団体数、比率（小数第1位）で掲載しています。

2 調査結果の詳細

【活動について】

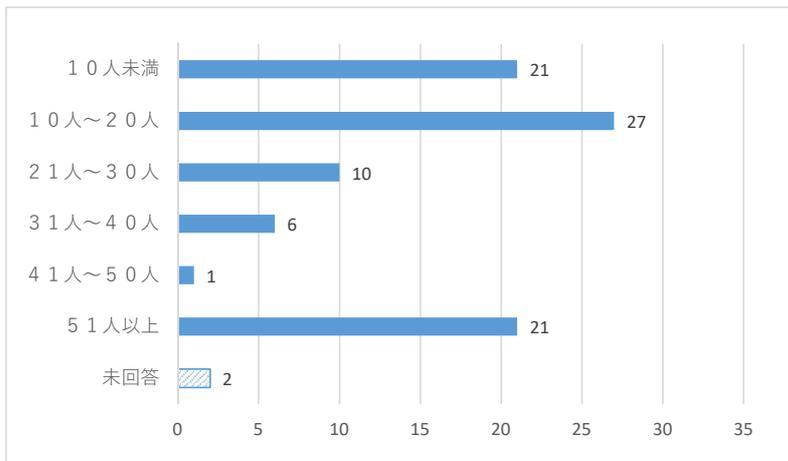
問1. 団体の活動年数を教えてください。



「11年～20年」活動している団体が最も多く、次いで「21年以上」の団体が多いという結果であった。

➔ 長きにわたって活動を続けてきた団体が多い。

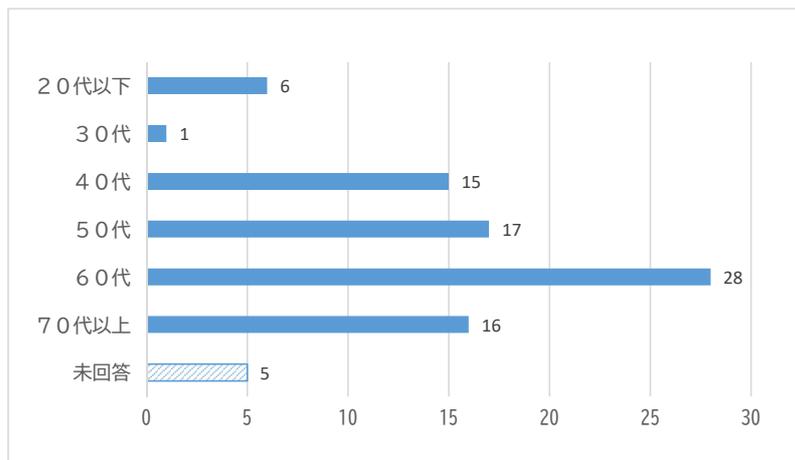
問2. 団体の構成人数を教えてください。



「10人～20人」規模の団体が最も多く、次いで「10人未満」「51人以上」の団体が多いという結果であった。

➔ 団体の規模については活動の内容によるものと考えられるが、活動をするにあたり、人を集めるとなると、20人程の人が集まり、そこから一つの団体になっていくのかもしれない。

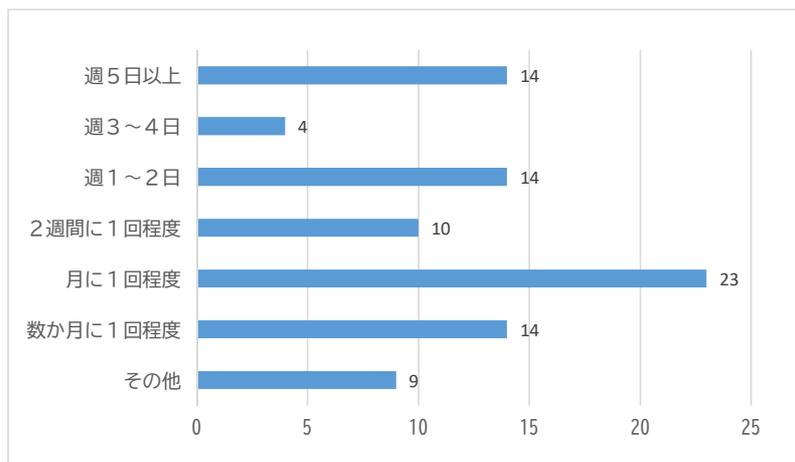
問3. 会員の最も多い世代を教えてください。



「60代」が最も多く、次いで「50代」、「70代以上」という結果であった。

- ➔ 60代が多いのは、仕事を退職し、時間に余裕ができ活動に取り組む人が多いのではないかと考えられる。
- 逆に、30代以下の世代が少ないのは、仕事や学業により、市民活動に割く時間がないのかもしれない。
- あるいは、40代以上の世代と比べ「市民活動」への意識が低いということも考えられる。

問4. 活動頻度を教えてください。



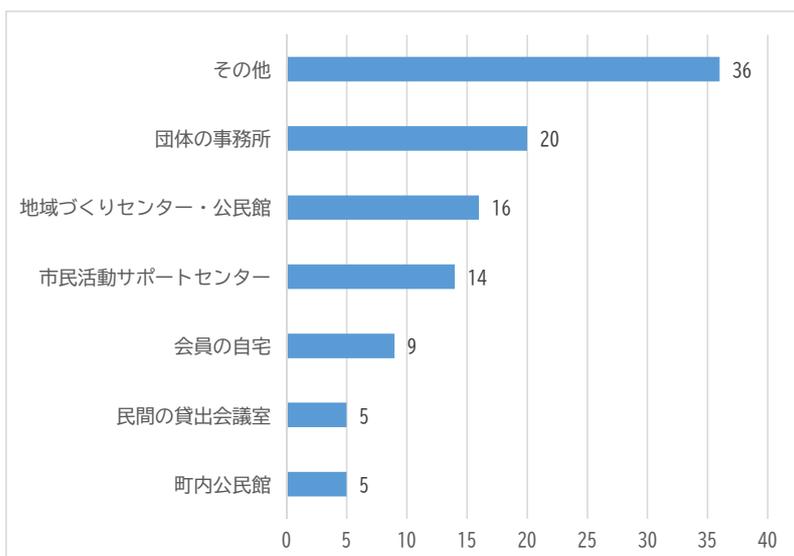
【その他】

- ・ 毎日パトロール
- ・ 各スポーツプログラムは土日を中心に活動
- ・ イベント直前、会報発行時は月2～4回
- ・ 年末、夏期各1週間の休み以外活動
- ・ 9月～12月
- ・ 年4～5
- ・ 年に1回程度
- ・ 不定期
- ・ 基本個人の活動
- ・ 担当事業ごとに異なる
- ・ 現在はほとんど活動無し

「月に1回程度」の団体が最も多く、次いで「週5日以上」、「週1～2日」、「数か月に1回程度」が多いという結果であった。

- ➔ 約7割の団体が、月に1回以上の活動を行っている。これは定例会を設けている団体が多いのではないかと考えられる。頻りに活動している団体が多いことが伺える。

問5. 主な活動場所について教えてください。（複数回答可）



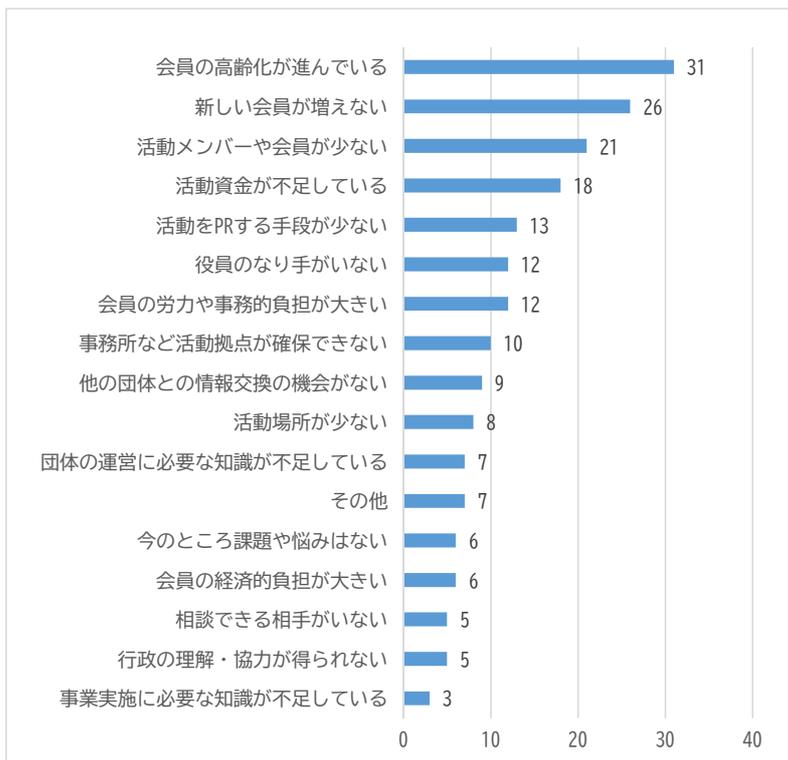
【その他】

- ・松本城
- ・松本駅
- ・市街地
- ・Mウイング
- ・アルウィン
- ・体育館
- ・町内公民館
- ・市内主要花壇
- ・合庁
- ・福祉センター
- ・生涯学習センター
- ・県内の山
- ・県内の公園
- ・団体所有の施設、敷地
- ・ボランティア先
- ・ネットワーク上

主な活動場所は、「その他」、「団体の事務所」が多く、「市民活動サポートセンター」を主な活動場所としている団体もいるという結果であった。

- ➡ 活動場所は活動の内容によって様々であることがわかった。地域づくりセンターや公民館を主な活動場所としている団体も多く、距離やアクセスなどメンバーの集まりやすさが重要となっているのかもしれない。

問6. 活動の中で感じている問題点や課題はなんですか？（複数回答可）



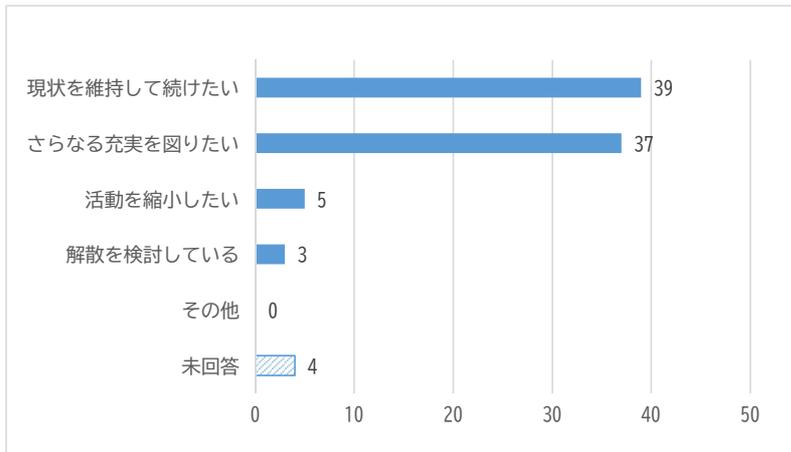
【その他】

- ・利用者さんへの日々の支援
- ・会員の労力や制作的負担を助けてくれる人材が欲しい
- ・活動の意義がなくなった

「会員の高齢化が進んでいる」、「新しい会員が増えない」、「活動メンバーや会員が少ない」、「活動資金が不足している」が多い結果であった。

- ➔ 「会員」について問題や課題として考えている団体が多い。また、資金的な問題を抱えている団体も多いことがわかった。
- 活動のPRに悩んでいる団体に対しては、サポートセンターでサポートしていくことができるのではないかと考える。SNSの使い方等のセミナー開催を行っていきたい。

問7. 今後の団体活動についてどのようにお考えですか。



「現状を維持して続けたい」、「さらなる充実を図りたい」が多い結果であった。また、「解散を検討している」と回答した団体もあった。

➔ 今後の団体活動に対して、意欲がある団体が多い。

逆に、活動を縮小や解散を検討している団体について、解散を検討する理由として、会員不足によるものなのか、高齢化によるものなのか、活動の目的の解決によるものなのかを把握できるとサポートセンターとして何かできることがあるかもしれない。

◎ 問6、問7の結果から

問6、問7の回答を下記のとおりまとめ、今後の活動についての考えと、現在感じている問題点、課題について、何か関係性がないか検証をした。

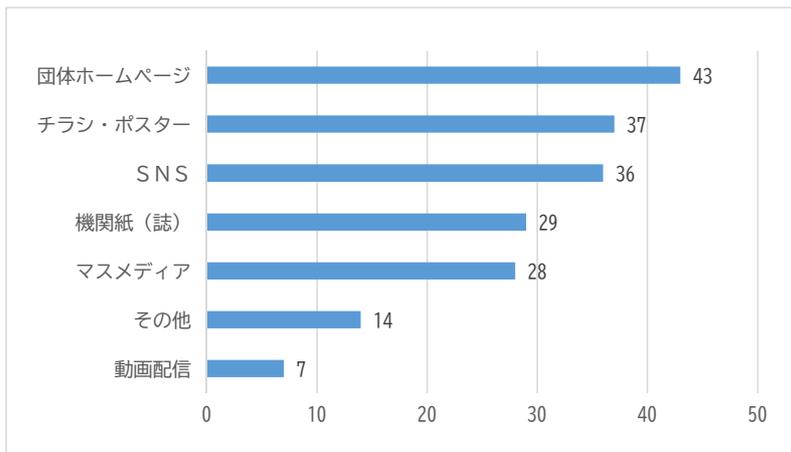
活動中の問題点・課題

問6 \ 問7	現状を維持して続けたい	さらなる充実を図りたい	活動を縮小したい	解散を検討している	未回答	合計
活動メンバーや会員が少ない	11	6	3	1		21
会員の高齢化が進んでいる	15	10	4	1	1	31
役員のなり手がいない	6	5	0	0	1	12
新しい会員が増えない	15	9	1	0	1	26
会員の労力や事務的負担が大きい	3	9	0	0		12
会員の経済的負担が大きい	2	4	0	0		6
活動資金が不足している	4	11	3	0		18
活動場所が少ない	4	4	0	0		8
事務所など活動拠点が確保できない	6	4	0	0		10
活動をPRする手段が少ない	8	5	0	0		13
団体の運営に必要な知識が不足している	1	5	1	0		7
事業実施に必要な知識が不足している	0	1	1	1		3
他の団体との情報交換の機会がない	3	6	0	0		9
相談できる相手がない	3	2	0	0		5
行政の理解・協力が得られない	2	3	0	0		5
今のところ課題や悩みはない	4	2	0	0		6
その他	3	3	0	1		7

- ➡ 「現状を維持して続けたい」と回答した団体と、「さらなる充実を図りたい」と回答した団体とで活動の中で感じている問題点や課題に違いがあることがわかった。
- ➡ 「現状を維持して続けたい」と回答した団体は、現状を維持したいが、会員が増えず負担感や不安を感じる団体が多い。また、活動のPRについても悩んでいることが読み取れる。
- ➡ 「さらなる充実を図りたい」と回答した団体も、会員について問題や課題と感じているが、それに加えて、活動資金や団体の運営に必要な知識の不足、他団体との情報交換など、現状を維持して続けたいと回答した団体に比べ、幅広くのことに対して問題や課題だと感じていることが読み取れる。

【広報・情報収集について】

問8. 広報の手段として利用しているものを教えてください。(複数回答可)



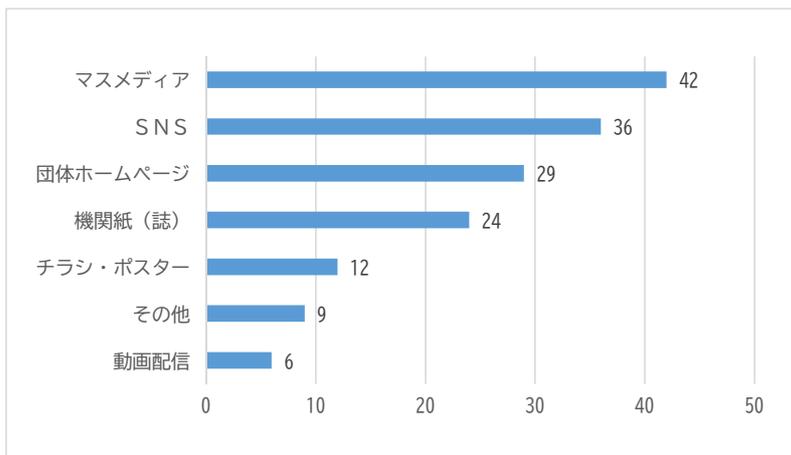
【その他】

- ・市のホームページ
- ・行政の広報誌
- ・公式LINE
- ・会員による勧誘
- ・メール
- ・口コミ
- ・ブログ発信

「団体ホームページ」が最も多く、次いで「チラシ・ポスター」、「SNS」という結果であった。

- ➡ チラシ等の紙媒体と併用して、ホームページやSNSを活用した情報発信が増えてきていると考えられる。

問9. 情報収集のために日常的に活用しているものがあれば教えてください。(複数回答可)



【その他】

- ・市町村広報誌
- ・メール
- ・大学、学会、シンポジウム

「マスメディア」が最も多く、次いで「SNS」、「団体ホームページ」という結果であった。

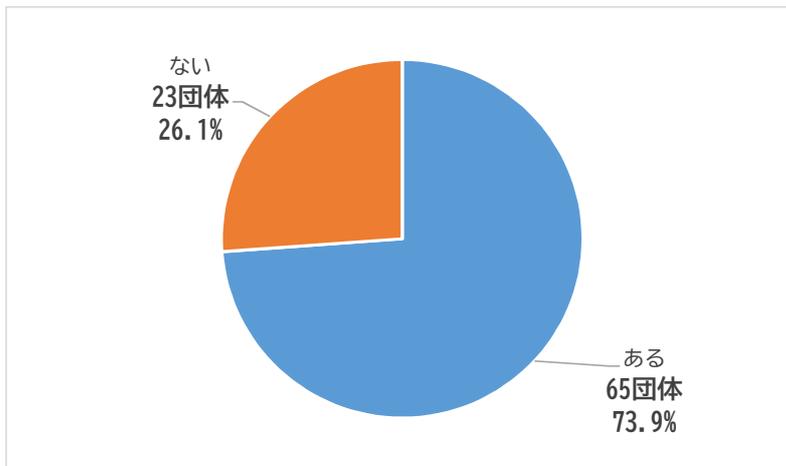
- ➔ マスメディアやSNSは、「偶然知った」「たまたま目に入った」など偶然性が高い。日常的に目にしやすい媒体で情報発信していくことがポイントとなりそうである。

◎ 問8、問9の結果から

- ➔ 情報発信では、ホームページを活用している団体が多いが、実際に情報収集の手段として活用されているのはホームページよりもSNSのほうが多い。つまり、SNSをうまく利用できるようなになればもっと広く情報発信をしていくことができるかもしれない。
- ➔ 情報発信の手段として、チラシやポスターを活用している団体が多いが、情報収集の視点から見るとチラシやポスターから情報を収集していると回答した団体は圧倒的に少ない。広報の手段を増やしたり、見直しをすれば、もっと活動について情報を届けやすくなるのではないかと考えられる。

【サポートセンターについて】

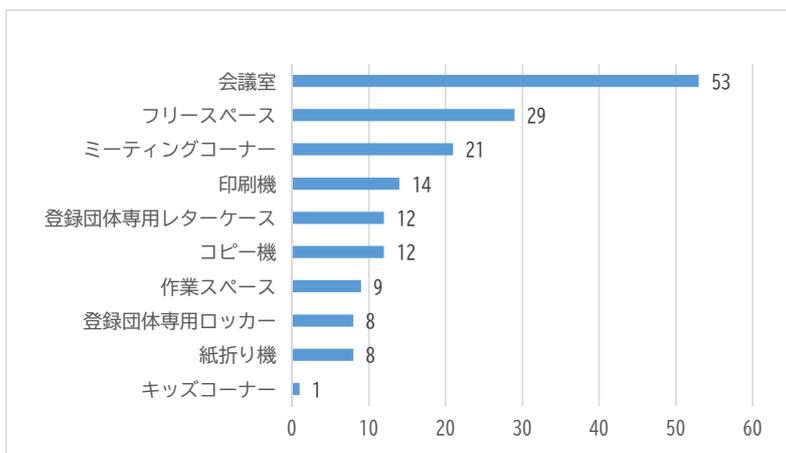
問10. サポートセンターを利用したことはありますか。



➔ サポートセンターを利用されていない団体には、サポートセンター通信や、ホームページ等を通じて、活動に活かせるような情報提供を行っていきたい。

問10-1. 問10で「ある」と回答した団体

利用したことがあるスペースを教えてください。（複数回答可）

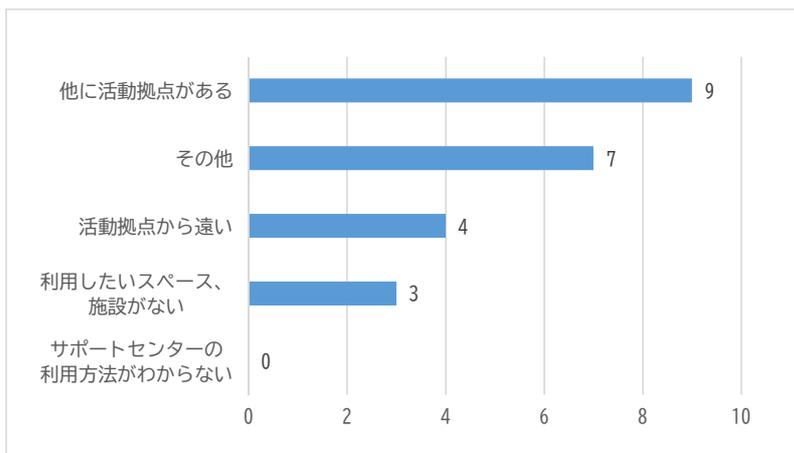


「会議室」が最も多く、次いで「フリースペース」、「ミーティングコーナー」という結果であった。

➔ 会議室やフリースペースの利用が多いのは、登録団体は事前予約ができ、無料で利用できることが要因と考えられる。

また、キッズコーナーは現在利用がほとんどなく、今後の在り方が課題である。

問10-2. 問10で「ない」と回答した団体
サポートセンターを利用していない理由を教えてください。



【その他】

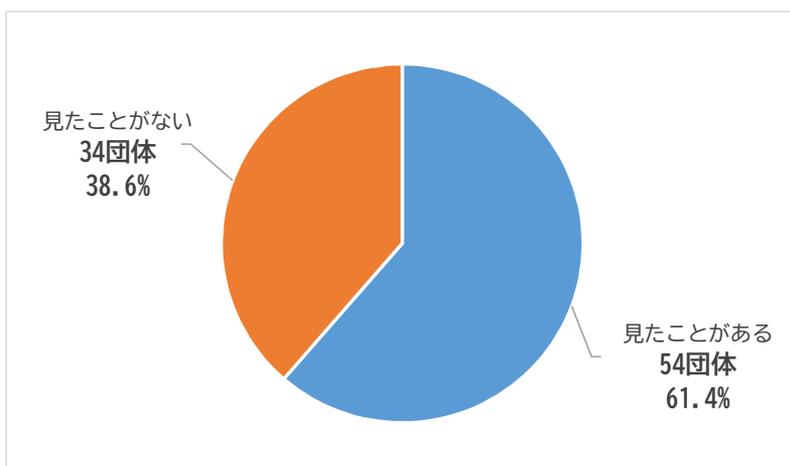
- ・ 駐車場が遠い
- ・ オンラインで打合せするようになった
- ・ 利用するという発想がなかった
- ・ 外部活動が主目的のため
- ・ 会議室が埋まっていて借りられない

「他に拠点がある」、「活動拠点から遠い」という回答が多くあった。

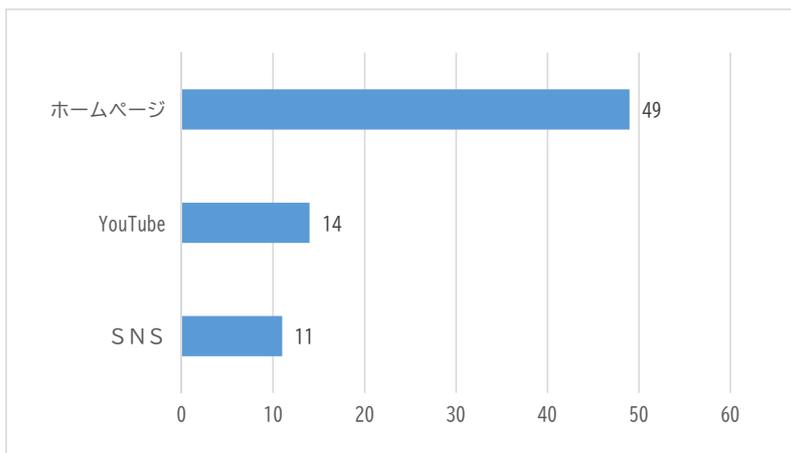
➡ サポートセンターの近くに駐車場がないということは、サポートセンターの利用に大きく影響しているのではないかと考えられる。

自分たちの拠点を持っていると、わざわざサポートセンターまで足を運んで活動をするという選択肢はなくなっていくと考えられるが、そういった団体に困りごとができた際は、サポートセンターへ相談していただけるようサポート体制を常に整えておきたい。

問11. 市民活動サポートセンターのホームページやSNS（X、Facebook等）を見たことはありますか。



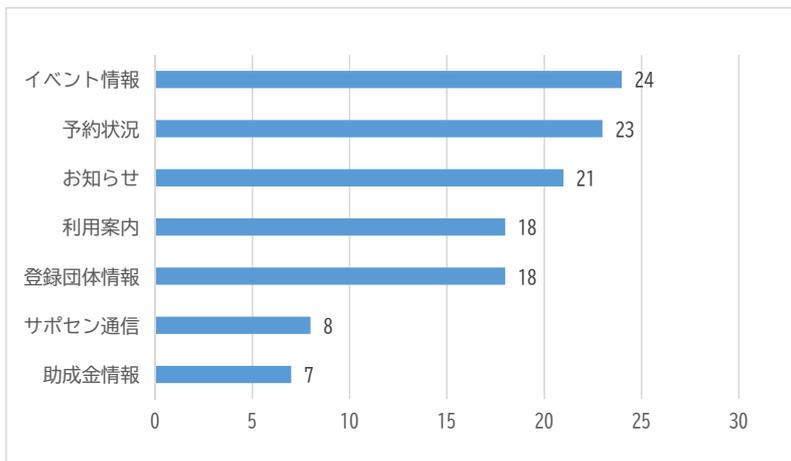
問11-1. 問11で「見たことある」と回答した団体
見たことあるものを教えてください。（複数回答可）



「ホームページ」が圧倒的に多いという結果であった。

- ➔ YouTube、SNSのアクセスが少ないのは、普段YouTubeやSNSを使うことがない、または使い方がわからないといったことが理由でアクセスが少ないのではないか。アクセス数を伸ばすための工夫を検討していきたい。

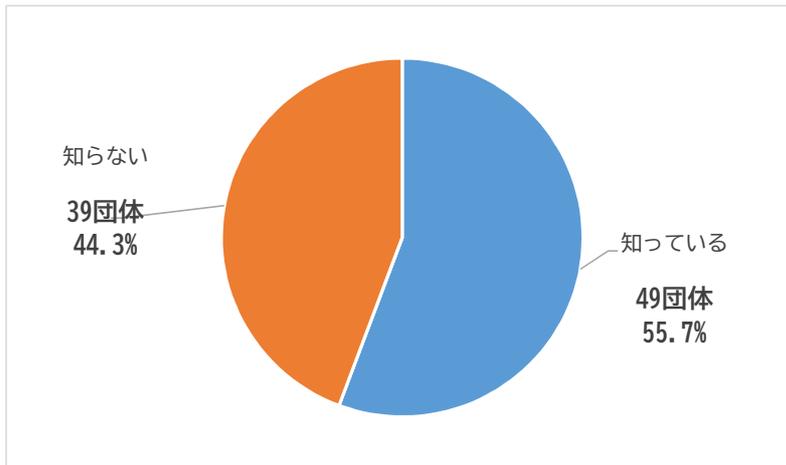
問11-2. 問11-1で「ホームページ」と回答した団体
アクセスしたことがあるページを教えてください。（複数回答可）



「イベント情報」、「予約情報」、「お知らせ」という順に多いという結果であった。

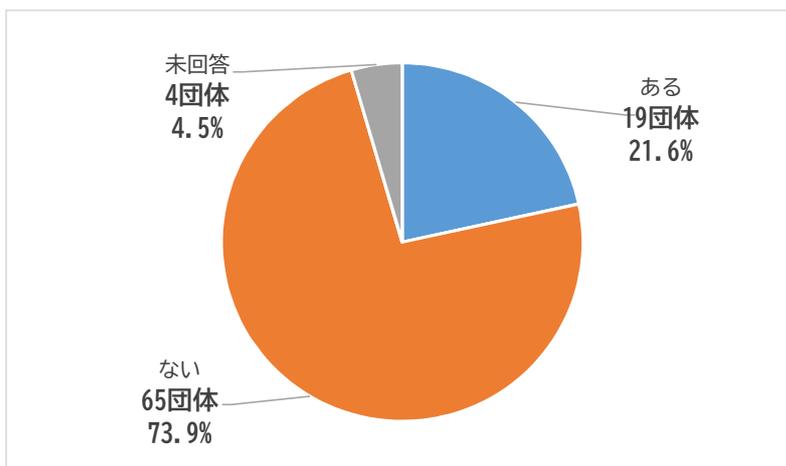
- ➔ サポートセンターを利用している団体が、予約状況を確認するときにイベント情報やお知らせなどホームページ全体を活用していただけているのではないか。イベント情報や予約状況、お知らせ等アクセスが多いものについては、SNSで発信をするのも一つの手段かもしれない。

問12. サポートセンターに、市民活動について相談・支援ができるコーディネーターがいることをご存じですか。



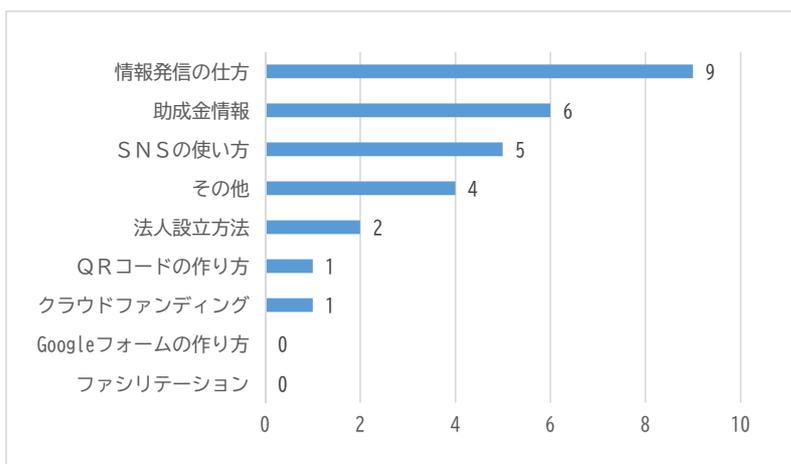
➡ 「知らない」と回答した団体は、職員のことは知っていても、「コーディネーター」ということを知らない可能性も考えられる。コーディネーターについてもっと周知していきたい。

問13. サポートセンターへ相談したいことはありますか。



➡ 「ない」と回答した団体が多いが、相談を必要とするほど困ることは今のところないと読み取れる。「困ったことがあったら気軽に相談してください!」といった周知をしていきたい。

問13-1. 問13で「ある」と回答した団体
相談したい内容を教えてください。(複数回答可)



【その他】

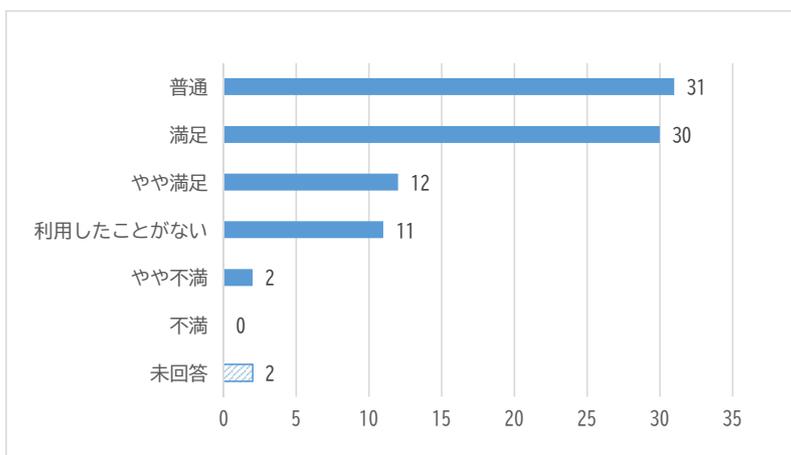
- ・イベント開催について
- ・今後の展開について
- ・会員募集について

「情報発信の仕方」が最も多く、次いで、「助成金情報」、「SNSの使い方」という結果であった。

➡ 情報発信やSNSの使い方について需要があることがわかった。

情報発信の仕方については、サポートセンターとして個別対応等こまめな対応を心掛け行っている。今後も、相談したい内容に見合った情報の提供やセミナーの開催等を行うなど、積極的にサポートを行っていきたい。

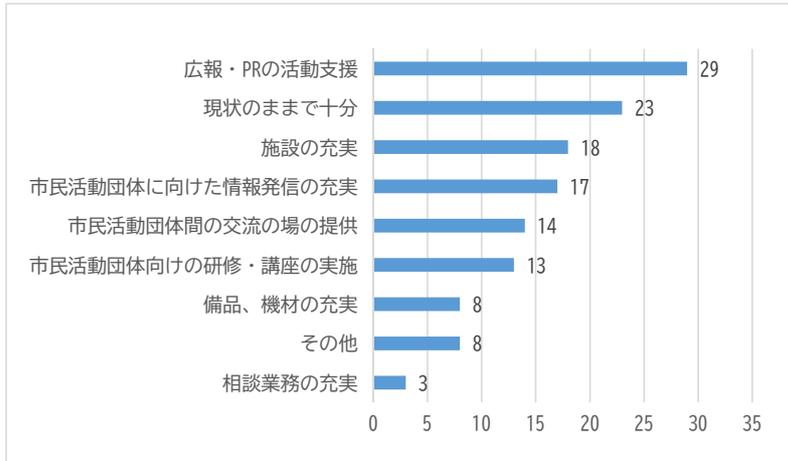
問14. サポートセンターの現状の「機能」について満足していますか。



「普通」が最も多く、次いで「満足」、「やや満足」という結果であった。

➡ サポートセンターを利用したことがある団体のうち約97%が不満を感じていないという結果から、今後も市民活動団体が利用しやすいサポートセンターを目指していきたい。

問15. どのようなサポートセンターを望みますか。(複数回答可)



【その他】

- ・近くに駐車場がほしい
- ・会議室が複数あるとありがたい
- ・助成金情報が多く欲しい
- ・今後は、活動範囲を広げる支援および協力体制の充実を期待する

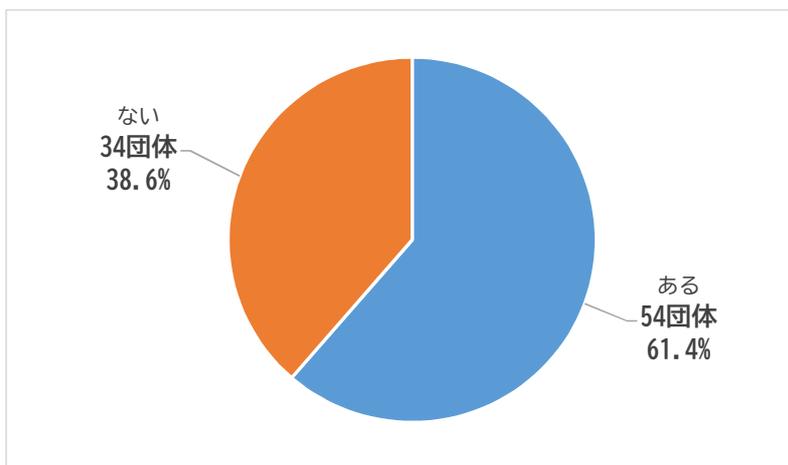
「広報・PRの活動支援」が最も多く、次いで「現状のままで十分」、「施設の充実」という結果であった。

➔ 広報・PRの活動支援を望んでいる団体が多いことがわかった。ホームページやSNS等の活用にもつながってくると考えられるため、今後、積極的にサポートしていきたい。

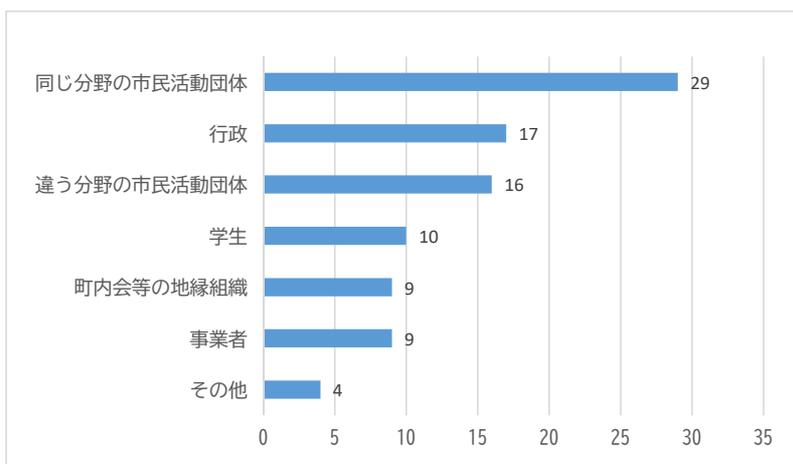
また、現状のままで十分という回答も多いことから、今のサポートセンターのあり方は、市民活動団体に求められているものに応えることができているのではないかと考えられる。

【協働について】

問16. 市民活動フェスタ以外で、他の市民活動団体、市、事業者等と協働して活動したことはありますか。



問16-1. 問16で「ある」と回答した団体
協働相手について教えてください。（複数回答可）



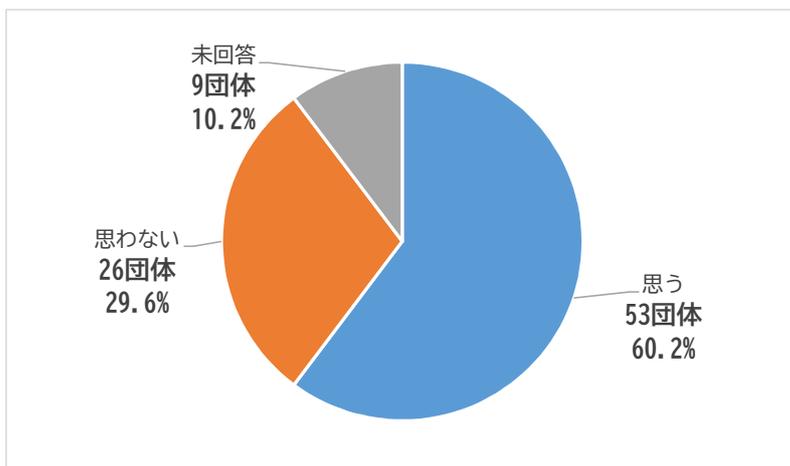
【その他】

- ・市職労組などの労働組合
- ・児童センター、学校行事

「同じ分野の市民活動団体」が最も多く、次いで「行政」、「違う分野の市民活動団体」という結果であった。

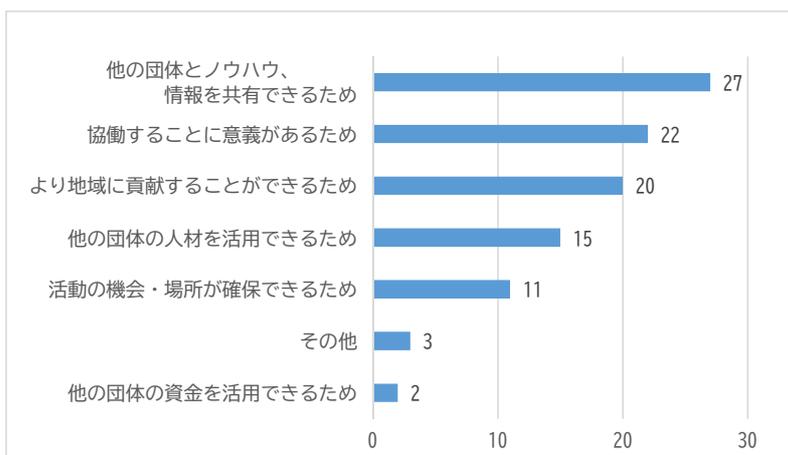
➔ 協働で活動するには、同じ分野の団体と行うほうが活動しやすく、この結果になったのではないかと考えられる。また、行政と回答した団体も多いことから、「目標」や「目的」が明確に共有できる相手と協働することが抵抗なく取組みやすいのかもしれない。

問17. 今後、他の団体と協働して活動したいと思いますか。



➔ 6割の団体が他の団体と協働して活動したいと思っていることがわかった。
協働して活動したいと思っている団体に対して、問17-1の理由を満たせるよう、サポートセンターとしてイベントや事業などのサポートを行うほか、きっかけとなる情報提供を行っていきたい。

問17-1. 問17で「思う」と回答した団体
他の団体と協働したい理由を教えてください。(複数回答可)



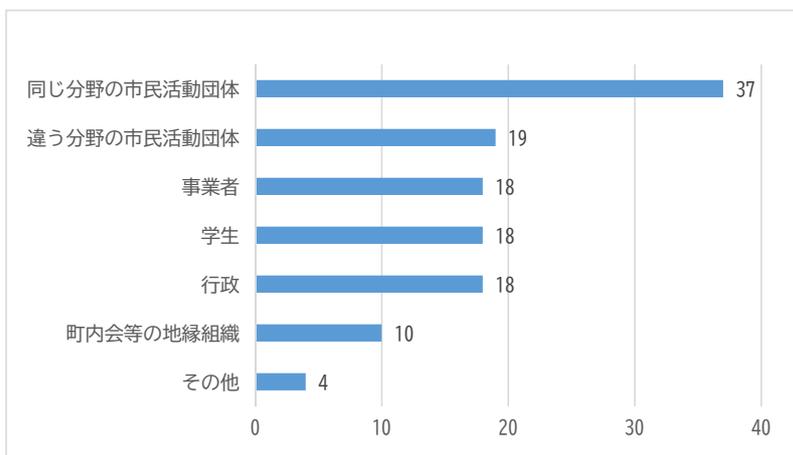
【その他】

- ・自分達の学びにつながる
- ・イベント参加者を募るため

「他の団体とノウハウ、情報を共有できるため」が最も多く、次いで「協働することに意義があるため」、「より地域に貢献することができるため」という結果であった。

➡ 協働をすることによって、自分たちの団体活動に何らかの効果が期待できると考えている団体が多いことがわかった。

問17-2. 問17で「思う」と回答した団体
どのような団体と協働したいと思いますか。(複数回答可)



【その他】

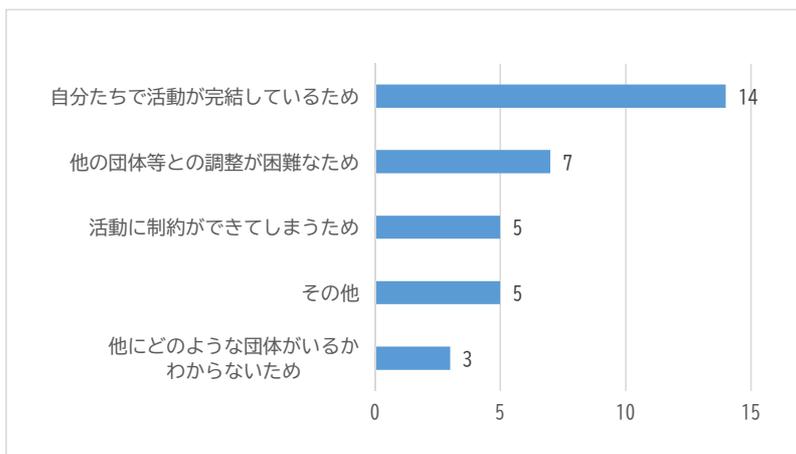
- ・目的が同じならどんな団体とでも
- ・「共生社会」推進する団体との協働

「同じ分野の市民活動団体」が最も多く、次いで「違う分野の市民活動団体」、「事業者」という結果であった。

➡ 一緒に活動をしようと考えたとき、同じ分野の団体であると、今後の自分たちの活動に得るものがあると考えている団体が多いのではないかと。

同じ分野の団体がつながりを持てる場を設けていきたい。

問17-3. 問17で「思わない」と回答した団体
他の団体と協働したくない理由について教えてください。(複数回答可)



【その他】

- ・協働のイメージが湧かない
- ・基本個人の活動のため
- ・活動が限定されるため

「自分たちで活動が完結しているため」が最も多く、次いで「他の団体との調整が困難なため」、「活動に制約ができてしまうため」という結果であった。

- ➡ 自分たちの活動で完結している＝活動のノウハウをしっかりと持っている団体が多いことがわかる。
他の団体等との調整が困難という団体については、何かの「きっかけ」があれば協働に結びついていくのではないかと考える。

問18. 全体を通して、その他、ご意見等ありましたらご記入ください。

【要望・意見】

- ・助成金の情報などが欲しいです。電話で相談できるシステムも欲しいです。
- ・シニア世代への働きかけ、プラチナサポーターズさんとの協働など、これからもよろしくをお願いします。
- ・事務所のない団体が、事務所代わりに気軽に使用できる設備があるとありがたい。たとえば、コピー機や印刷機など団体のカードやプリペイドカードなどを利用することで、すぐに利用できたり、大量の両面印刷・スキャンなど、充実した機能があると、会議室での打ち合わせも、活動の準備もしやすくなると思う。郊外にもあると便利？
- ・今まで「相談」という事がなかったので、これからは相談させて頂きたいと思います。
- ・同じ悩みを持っている方の手助けができればと思っております。行政や医療とも連携する機会があれば情報交換もしたいと思います。
- ・このように、意見を吸い上げるしくいを作っていただいで感謝します。一方通行でなく、活動を支えて下さる姿勢に敬服しています。活動は秘密にする事柄が多く、なかなか協働にいたらないことも悩みですが、PRにはぜひお力をお貸しください。
- ・松本市における広報誌「まつもと」以外に団体活動の情報および活動内容ピーアールできる小冊子の発行など、提案したい。宜しく願いいたします。

【団体の現状報告】

- ・会員の高齢化が進み、体力面、健康面で問題があり、約9年間の活動でやり切った感があるので、1～2年後の解散を検討中です。
- ・現在、会は存続しつつも役員等が多忙の為、なかなか会員どうしの交流の場を設けることが難しく、会全体ではなくそれぞれの会員の数組ずつの単発的な活動となっております。
それでも役員は、年1回集まって会の運営、存続等について話し合いをしている状況です。サポートセンターを積極的に活用することは減ってきていますが、今後何かあったときにはまたいろいろと御相談させていただくこともあろうかと思えます。今後共よろしくをお願いします。
- ・運営スタッフ不足のため、極端に活動を拡大できないので、あまり激しく動けません。ゆるくつながっていたい現在です。

【その他】

- ・いつも活動を助けていただきありがとうございます。
- ・いつも印刷機使わせていただいで助かっています。
- ・毎月の勉強会の時には、ご配慮いただきありがとうございます。これからもよろしくをお願いします。
- ・設備、対応に満足しています。
- ・いつも親切に対応していただきます。
- ・市民活動センターにはいつも大変助けられ、ありがたく感じています。市民活動に協力的、土日も人がいて対応してくれる皆さん親切などが理由です。これからも頼りにさせていただければと思います。
- ・資金情報etc参考にしています。